

令和2年度岡山県立岡山御津高等学校第2回学校運営協議会

- 日時 令和2年10月26日(月) 15:00~16:50
- 場所 岡山県立岡山御津高等学校 特別教室棟2階 多目的教室
出席委員10名(全委員14名)

1 開会

2 会長挨拶

3 報告

(1) ルネス学発表

- 獅子舞
- みつ検定

上記2チームの3年次生徒が現在の取組状況、今後の取組について発表

(2) 学校経営に関する中間報告(校長説明)

- 年度当初の計画の取組状況と課題について説明

(3) 地域の方々と語る会

令和2年9月18日(金)開催 1年次生徒9名参加
黒瀬委員、中西委員から当日の様子について報告

4 協議

(1) グループ協議

中間評価について(教頭説明)

- ・ これまでの主な取組について成果と課題及び今後の主な取組について説明
- ・ 第1回学校運営協議会で出た意見に関しての取組状況の説明

4つのグループに分かれて協議

- ・ 学校の発展、生徒の育成の視点から中間評価を基に、現状を捉えて今のままで良いかどうか、今後どのような課題がありどこに重点を置くべきか

主な意見

- ・ 生徒は地域にたくさん出向いている。地域に溶け込もうとする姿を評価してもらっている。
- ・ 3年間通う中で岡山御津高校に通う意識、誇りが浸透できていない。岡山御津高校に通って夢をもって卒業してほしい。
- ・ 御津町がどういう流れを汲んできたか、御津の方々の思いを安信委員(元御津町長)からお話を聞き、自分たちも学ぶ場になった。

- ・ 地域で協働学習する中でどういう気持ちを育てるか。
- ・ 深く学ぶ動機づけとしての活用として、分からないことを発見から深く学ぶ、みつ検定も深い学びにつながる。
- ・ 他世代や少し年齢が上の人（大学生）など違う視点を与えてくれるところからの気づきもできるのではないか。これも深い学びになり岡山御津高校での深い学びになるのではないか。
- ・ 地域の特性の理解、地域の人たちがどういう思いで御津を良くしたいかという思いの理解が不可欠。
- ・ 自分たちも知らないことがたくさんあった。大人も御津の方々の思いを深く知ることにより生徒がどのように地域にかかわっていくかということを考えていける。
- ・ ハピネスチケットの取組を教員から生徒だけでなく、教員同士や生徒同士もする。
- ・ 生徒は今までの経験、狭い枠の中でいろいろ考えて自分なりの生き方や常識を作っている。教員が間違いを指摘しても生徒の心に届かない部分もある。「世間とはこうだ」ということを示していく上でも地域とのかかわり、地域に出て色々経験する機会を作っていく。
- ・ 前回の内容を取り入れてルネス学をしており、すごく良い説明をしている。
- ・ みつ検定の質問を考えることで深く歴史を知ることができる。
- ・ 他の地域からの生徒にも地元の歴史や伝統文化を感じてもらえたらうれしい。
- ・ ルネス学発表を小中学生にもしてほしい。高校生に人前で堂々としゃべる機会を与え、発表することで自信を持ってほしい。
- ・ 御津中1年生は御津地域探究をしている。参考になるので是非してほしい。
- ・ 地域の方に向けて、発表する機会もてないか。
- ・ 歴史も大事だが、今の御津・建部の素晴らしさも調べて発信していけたらよい。
- ・ 家庭学習では端末利用を積極的に活用してはどうか。そして在校生にも波及できるような取組が必要。
- ・ オープンスクールのファッションショーのような取組を来年度以降も何かの形で生かせないか。生徒が発表する場として残せないか。
- ・ 生徒が発表する場がよい。
- ・ マスコミをどんどん活用する広報や発信をする。

5 事務連絡

(1) 今後の予定について

第3回学校運営協議会は令和3年2月の予定

6 副会長あいさつ

7 閉会